

安曇野市市民協働事業提案制度

事業名 「あづみの国際 DAY」に向けた多文化共生事業

協働事業 実施団体名	あづみの国際化ネットワーク (AIN)	安曇野市	人権男女共同参画課
代表者名	丸山 美枝	代表者名	課長 高山 厚子
活動拠点所在地	安曇野市穂高		
事業実施総額	298,908 円		
事業実施日・期間	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>(事業概要)</p> <p>安曇野市には現在、1,200 人を超える外国人住民が暮らしています。全国的にみても長野県は 17 番目目に在住外国人が多く、安曇野市は長野県内 77 市区町村中、第 7 番目に集住している地域でもあり、決して少ない人数ではありません。このような地域で住民相互の国際理解は、共に住みよい地域づくりを推進していくために、また市民が安心・安全に暮らしていくために大変重要です。</p> <p>(実施事業)</p> <p>① 防災に役立つ「やさしいにほんご」講座&東京消防庁防災体験 (60 名)</p> <p>② 日本語 de スピーチ大会&多文化共生クイズ (70 名)</p> <p>③ あづみの国際 DAY2017!～安曇野で世界を体験! 見る・知る・学ぶ・食べる! (300 名)</p> <p>(成果)</p> <p>① 市の災害速報は専門用語が多く外国人住民に十分に伝わっていないことが分かった。ワークショップでは緊急避難指示を外国人住民と共に「やさしいにほんご」に直して学び、外国人住民へ伝えることの難しさもわかっていただく事ができた。</p> <p>② 来場者より「感動した!」「良かった!」という声をいただいた。外国人住民が日々、何を思い、何を感じているのか直接、地域の方々に聞いていただく事ができた。</p> <p>③ 国際 DAY で①②を写真とプロジェクターで展示発表した。1 年の集大成として「あづみの国際 DAY」のコンセプトを、外国籍住民との理解・交流・協力とし、多文化共生のきっかけとなるように設定した。多文化理解のため、各国の衣食住を中心に、各国ブースの展示、ステージでは音楽パフォーマンスの他に外国人による「母国紹介」「多言語防災訓練」を取り入れた。多くの市民の方々にご来場いただく事ができた。</p> <p>(今後の展開)</p> <p>活動資金が乏しく大変厳しいけれど、多くの市民の方々が楽しみにして下さるので、縮小しつつ協力者を募り、できること・得意なことを持ち寄り継続できる様、工夫していきたい。</p>		

① 防災に役立つ
「やさしいにほんご」
ワークショップ
&
東京消防庁で防災
体験！

防災の専門用語は、外国人住民にとって、大変難しい言葉です。(+_+)



② 日本語 de スピー
ーチ大会 &
多文化共生クイズ

来場者の方より「感動した！」「良かった！」の言葉をいただきました◎



③ 「あづみの国
際
DAY2017！」～
安曇野で世界を体
験！見る・知る・
学ぶ・食べる！

カナダ・中国・韓国・ネパール・ベナン・ブラジル・インドネシア・
フィリピン・ベトナム・日本の皆さんが参加しました。

外国籍の子どもたちも「国際 DAY」を一緒に盛り上げてくれました！(^o^)



役割分担

協働事業実施団体

- 1、 チラシ等による周知、参加者募
- 2、 チラシ、資料等作成
- 3、 当日進行
- 4、 通訳
- 5、 内容検討
- 6、 会場配置検討

市

- 1、 広報・HP・チラシ等による参加者募集、とりまとめ
- 2、 チラシ、看板等印刷
- 3、 学習会資料作成
- 4、 会場確保
- 5、 市バス予約、保険手続き
- 6、 多文化共生アンケート